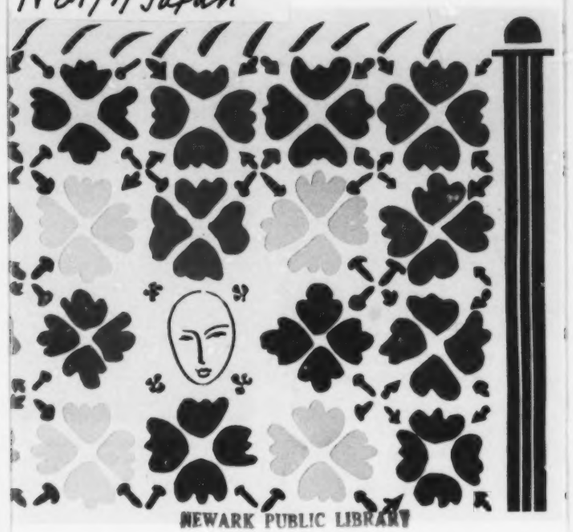
N21/4/Japan



NEWARK PUBLIC LIBRARY

MAR 25 1986

U. S. GOVT. PUBS.
DEPOSITORY 376

国立
美術館への
御招待

SI 8.2:

READEX MICRO

best copy available

国立美術館への御招待

国立美術館は中世紀から現時点にいたる、西洋人が創造した絵画、彫刻、印刷美術を所蔵する世界中で最も優れた美術館の一つです。訪問者はギャラリーの中に、米大陸における最も完璧なイタリア絵画と彫刻の収集を見る事でしょう。この中には、ヨーロッパ以外における唯一のレオナルド・ダ・ビンチによって描かれた絵画も含まれています。その他所蔵品は豊富なフランス、ドイツ、フランドル、イギリス、アメリカ、スペイン、及び20世紀の美術品からなっており、レンブラント、ラファエル、それに印象派のすばらしい作品をそなえています。

国立美術館、西館はアンドリュウ・メロンの寄贈品です。1937年、死にあたって同氏の寄贈した収集品がこの美術館の核となっています。1941年3月17日、時の大統領フランクリン D. ルーズベルトはアメリカ国民を代表して完成した建物と美術品を受領いたしました。

建物の設計者はワシントンにあるジェファーソン記念館と連邦文書館の設計にあたったジョン・ラッセル・ポープです。この建物は大理石の建造物としては世界一大きなものの一つで、長さは780フィート、内部の床面積は50万平方フィートあります。

メロン氏はこの新しい美術館が更に多くの美術品を取得する様になる事を希望していたのですが、この夢はすぐに大きなスケールで実現する事になりました。サミュエル H. クレス、ラッシュ H. クレス、ジョセフ・ワイドナー、チェスター・デール、アルサ・メロン・ブルース、セッシング J. ローゼンワールド、エドガー・ウイリアム、バニース・クライスラー・ガーピッシュといった人々の収集品、それから数百人の個人からも寄贈が集まり始めました。

常に増え続けるコレクションを収める必要から、国立美術館東館が1978年から一般に公開されました。美術館の創始者の子息と息女である、ポール・メロンとなくなったアルサ・メロン・ブルース及びアンドリュー・メロン財団の寄贈になる東館は20世紀美術展示及び特別展示場として使用されています。事務局、美術館職員事務所、視覚美術研究センターがそれぞれこの館の中にあります。

1937年以来、連邦議会が予当してあった東館用地が三角形であったために、設計者であるI. M. パイと彼のパートナーはこれの設計におおいに努力し、同氏は三角形の用地を二つの三角形の部分にふりわけたのです。この館の入口は西館の軸の延長にあります。したがって、二つの建物がつながったものとして見えるのです。

二つの建物は地下のコンコースで接続しており、これは一般用のキャフェテリア、レストラン、売店となっています。

1983年に完成した、西館一階ギャラリーの改修工事も本美術館の歴史の一ページをかざるものです。およそ7万5千平方フィートあるこのギャラリーは美術館の所蔵する彫刻、装飾美術品、印刷美術品、アメリカナイーブ絵画の2千点を展示する場となっています。これに新しいレストラン及び拡張された売店が加わり、西館一階ギャラリーが完成いたしました。

国立美術館は国務長官、財務長官、最高裁長官、スミソニアン・インスチチュート所長及び5人の民間人理事により構成される理事会により管理されています。スミソニアンの一局としての位置を占める美術館ですが、実際は独自の存在として運営されています。日常の運営と維持のため、連邦議会は年間予算から支出を行い、これを補助しております。そして美術品取得のための費用は民間からの寄付に依存しています。美術品取得の目的には、連邦予算は一切使われておりません。

J. Carter Brown

館長 J. カーター・ブラウン

West Building Ground Floor Galleries
Degas, *The Little Fourteen-year-old Dancer*
Lent by Mr. and Mrs. Paul Mellon

West Building

Raphael, *The Small Cowper Madonna*, Widener Collection

Rembrandt, *Self-Portrait*
Andrew W. Mellon Collection

Leonardo da Vinci, *Ginevra de' Benci*
Ailsa Mellon Bruce Fund

David, *Napoleon in His Study*
Samuel H. Kress Collection

インフォメーション

インフォメーション・デスクは西館のモールの入口、それから東館の4番通り入口にそれぞれ設けられています。ギャラリーの配置、短い案内所、最新のフィルム・スケジュールと行事予定もデスクに用意してあります。

ツアー・講演・映画

教育部が無料の、館内常設及び特別展示室ツアーを用意しています。

イントロダクション・ツアー：50分の館内説明で、週7日間実施しています。西館と東館の間を交互に行うこのツアーは月曜から土曜までは11時と3時に、日曜は1時と5時に行います。西館のツアーは一階のロタンダに集合、東館も一階から出発いたします。

50分を要する特別ツアーは系統的に、又その時々の特別展示を見てゆくものです。火曜から土曜までは1時、日曜は2時30分出発です。

今週の絵画：一つの絵に関しての15分間の説明が火曜から土曜までは12時に、日曜には2時に行われます。説明のあった絵の複製はギャラリーの売店で求めることができます。又絵の簡単な説明は無料で入手できます。

15人以上のグループの為の、又5人以上の外国人の為の外国語による特別ツアーも、教育部に少なくとも2週間前に申しこんでいただきますと、アレンジする事が出来ます。申しこみは、電話202/842-6246まで。

他の教育行事(例えば講演、教科など)に関しては月刊"Calendar of Events"に発表されます。之等のものは毎日曜日の午后4時に客分学者、又は当館スタッフのものに依って行われるスライド入りの講演などを含みます。場所は東館講堂です。これらの講演は普通National Gallery の所蔵品、又は現行特別展示に関連したものです。

アンドリュー・メロン・ファイン・アート講演会はおよそ6回にわたる講演シリーズで、各分野の専門の学者が行い、その内容は美術館の出版物となります。この行事は連続した日曜日に行われます。

映画は年間を通じて東館の講堂で無料で上映されますが、そのスケジュールは変更し得るものです。詳細は年4回刊行の"The National Gallery of Art"に発表されます。

特別サービス

車いす・乳母車の貸与、コート・かさ・小荷物・館内美術品模写の許可を持つ美術家のイーゼルのおあずかりを無料でいたします。

身体の不自由な人々のための施設

専用駐車場が東館前の4番通りプラザにあります。館の総ての公共部分は車いすが使える様になっています。

出版物

書籍、展示カタログ、カラー複製、絵葉書、国立美術館コレクションのスライド、ポスターは東館のコンコース入口、西館の一階にある売店のセルフ・サービス売場で販売しております。展示品に関する説明用パンフレットは西館各所に置いてあります。

Cassatt, *The Boating Party*, Chester Dale Collection

East Building

レストラン

4つのレストランが年間を通して仕食と軽食のサービスを行っています。
月曜から土曜までの時間は：
東館のテラス・カフェー：11時から4時30分
コンコース・セルフサービス：10時から3時30分
カスケード・カフェー：11時から3時30分
西館のガーデン・カフェー：11時から4時30分
日曜の営業時間は一律に12時から6時までです。

写真撮影

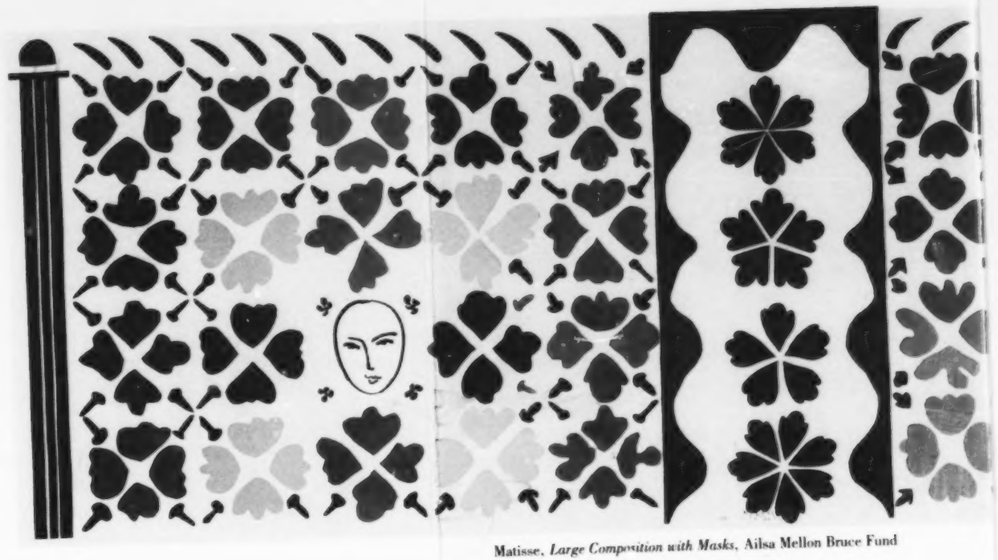
フラッシュの使用も含めて展示作品の写真撮影は、特別おことわりしていない限り、館内全体に自由です（ただし三脚、一脚等の使用は禁ぜられています）

コンサート

ナショナル・ギャラリー・オーケストラ及び客員オーケストラによる無料演奏会が毎日曜7時に、夏の期間を除いて、西館の東ガーデン・コートで行われます。自由席であるシートは6時から公開いたします。このコンサートは毎週WGMS-AM(570)局及びWGMS-FM(103.5)局により生放送されます。

駐車と公共交通機関

館周辺の駐車スペースに限りがあるため、公共交通機関を利用しての来館をおすすめします。多くの路線バス、地下鉄の駅が近くにありますし、ツアー・モービルも西館モール入口でとまります。タクシーは通常コンスチチューション街と4番通り入口でつかまえる事が出来ます。



Matisse, *Large Composition with Masks*, Ailsa Mellon Bruce Fund

行事予定

最新のツアー、講演、映画、展示予定は無料月刊誌「行事日程」(CALENDAR OF EVENTS) に記載されています。これはインフォメーションデスクで、もしくは郵便で入手出来ます。申込先は、INFORMATION OFFICE, NATIONAL GALLERY OF ART, WASHINGTON, D.C. 20565
(202)842-6353です。

開館時間

月曜から土曜：10時より5時
日曜：12時から9時
クリスマスと正月元日以外は毎日開館
入場は無料

NATIONAL GALLERY OF ART
WASHINGTON, D.C. 20565
電話：(202)737-4215